

# La Confiance

ラ・コンフィアンス

大阪赤十字病院 患者総合支援センターだより

Confiance(コンフィアンス)とは、フランス語で「信頼、信用」を意味します。

vol.46

2025年 **冬号**



・新年明けましておめでとうございます

Topics

Breast Network News

診療科紹介 医療最前線 〈消化器外科〉

胃がんに対する集学的治療の進歩

・「頭の形外来」を開設しました



# 新年明けましておめでとうございます

副院長・患者総合支援センター長 大西 裕之

新年明けましておめでとうございます。

先生方には当院の地域医療連携にご理解とご協力をいただき誠にありがとうございます。また、多くの患者さんのご紹介をいただきありがとうございます。

昨年4月から始まった医師の働き方改革と、6月から施行された診療報酬改定により、地域医療を担う医療機関の一つとしてより一層の改革・改善が求められています。

当院に期待されている高度機能病院としての責務に応えるため、昨年5月から新設したHCUと増床したSCUが稼働しています。また、「心血管センター」「脳卒中センター」「脳腫瘍センター」「肝胆膵がんセンター」「食道がんセンター」「大腸がん・直腸がんセンター」と、専門性の高い診療領域をセンター化しました。さらに昨年12月には、より多くの消化器救急にも対応できるよう、内視鏡透視室1室を増設し、運用を開始したところです。

今後も放射線治療装置の更新と放射線治療専用CT装置の新設を予定しており、あらゆる分野において地域の急性期病院としての役割を全うし、先生方とともに地域医療に貢献してまいりますので、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願ひ申し上げます。

## Topics

# Breast Network News

乳腺外科主任部長 露木 茂

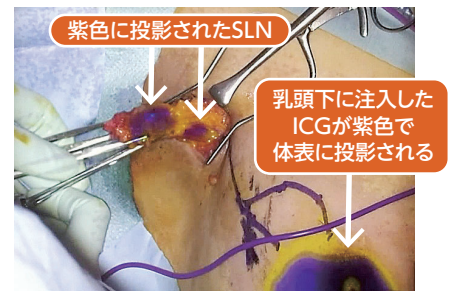
乳がん術後連携パスにご協力いただき誠にありがとうございます。  
日々の診療にお役に立てるように、定期的に乳腺疾患についての情報発信を行ってまいります。

### ● センチネルリンパ節生検に、MIPSを用いたプロジェクションマッピングを導入



センチネルリンパ節生検の器械を、ICG蛍光観察装置MIPSに更新しました。これにより、ICG蛍光情報：センチネルリンパ流やセンチネルリンパ節 (SLN) を体表に直接マッピングできるようになりました。

右の術野の写真のように、蛍光センチネルリンパ節が術野に紫色として投影されるので、直視下に蛍光リンパ節を確認でき、スムーズに手術を実施できるようになります。また、ICG蛍光観察装置MIPSは、肝臓の肝切除の切離ラインの確認や、食道がん手術などの消化管再建の血流確認などにも、使用できます。

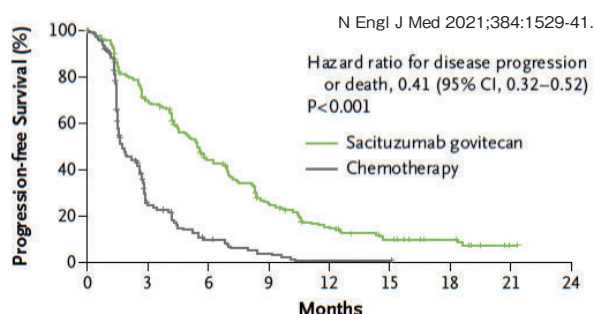


▲ICG蛍光観察システムMIPS

### ● 2つの新規薬剤により、再発乳がん患者への選択肢が広がり、予後の改善に期待

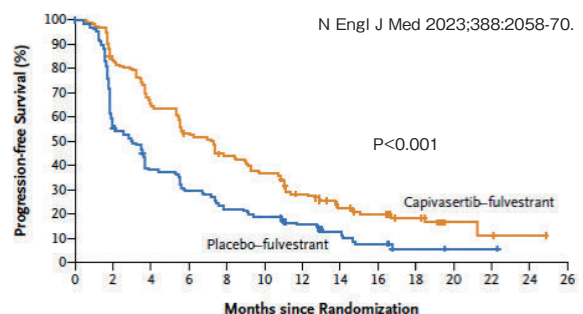
#### トロデルビ: Sacituzumab govitecan

トロデルビは、抗TROP2抗体にてトポイソメラーゼI阻害剤を結合させた抗体薬物複合体で、**トリプルネガティブ乳がん (TNBC) 再発患者に投与可能**となりました。ASCENT試験では、2レジメン以上の化学療法歴のあるTNBC再発患者に対して、トロデルビを対照群の医師選択の単剤化学療法と有効性・安全性を比較し、**PFS中央値が対照群1.7カ月に対して5.6カ月と有意に延長しました。**OSも有意に延長しました。有害事象は好中球減少症、下痢等があります。



#### トルカプ: Capivasertib

トルカプはAKT阻害剤で、PI3K/AKT/mTORシグナル伝達経路を阻害し、がん細胞の成長と増殖を抑制します。**ER陽性HER2陰性乳がん再発患者**が対象となりました。CAPitello-291試験では、トルカプ+フェノロドックスを対照群のフェノロドックス単剤と有効性・安全性を比較し、**PFS中央値が対照群3.1カ月に対して7.3カ月と有意に延長しました。**有害事象は下痢、悪心、発疹等があります。PIK3CA、AKT1またはPTENの遺伝子変異を検索のために、がんゲノム検査のファンデーション1を実施する必要があり、本薬剤の使用の足かせになっています。



# 胃がんに対する 集学的治療の進歩

昨今、がんに対する治療の進歩はめざましく、その流れは消化器がんでも同様です。胃がんに対する治療も、内視鏡治療、手術療法、分子標的薬や免疫チェックポイント阻害剤 (ICI) を含めた化学療法が進歩し、治療適応や胃がん治療ガイドラインでの推奨も日々変化しています。ここでは、最新の胃がんに対する集学的治療につき解説します。

## 1 早期胃がんに対する内視鏡治療 (EMR/ESD)

リンパ節転移の危険性が1%未満と推定される病変は、ガイドラインで絶対適応病変とされています。2cm以下の肉眼的粘膜内がん (cT1a)、分化型がん、UL0 (潰瘍なし)、の病変のみの適応から、臨床試験の結果、上記のサイズの制限はなくなり、**3cm以下のcT1a、分化型がん、UL1 (潰瘍あり)**、2cm以下のcT1a、**未分化型がん**、UL0の病変にも適応が広がりました。高齢や併存症の理由で適応から外れる患者さんで、外科的胃切除を選択し難い場合には、標準治療は外科的胃切除であること、リンパ節転移の危険性などの説明を十分に行い、患者さんの同意が得られた場合に内視鏡治療を施行しています。

## 2 手術療法

2011年より原則すべての胃がん患者さんに低侵襲手術として腹腔鏡手術を施行してまいりました。2018年よりロボット支援下手術が導入され、手ぶれ防止、多関節機能の利点により、さらに精緻な手術を施行可能になりました。国内の臨床試験で進行がんに対する腹腔鏡下幽門側胃切除 (LDG) の開腹手術に対する非劣性が証明され、ガイドラインでのLDGの推奨が臨床病期Stage II/IIIの進行がんにも広がりました。臨床試験では術者の厳格な適格基準が定められていたため、内視鏡外科学会技術認定取得医あるいはその指導のもとで行うことが推奨されていますが、当院では2名の有資格の指導医のもとで安全な手術を提供可能です。他の難易度の高い手術に対しても、精緻な低侵襲手術を国内外から評価されています。

## 3 周術期補助化学療法

初診時に領域内に高度な塊状のリンパ節転移を認める症例に対しては、術前化学療法が標準治療として認識されています。また、初診時に腹膜転移などの遠隔転移を認める方々にも、後に述べる化学療法により根治切除可能になる方も一定数存在し、そのような方にはConversion手術として外科切除を行っています。病理結果でStage IIの方に対してはS-1による1年間の術後補助化学療法を、Stage IIIに対してはさらに半年間のドセタキセルの追加を標準とし、病理結果に基づいた説明と治療を行っています。

### Profile

消化器外科副部長  
細木 久裕



1998年京都大学医学部卒業。2008年京都大学医学研究科博士課程 (外科系) 修了。2019年大阪赤十字病院消化器外科勤務。2021年9月より現職。

【資格】日本外科学会、日本消化器外科学会指導医。日本内視鏡外科学会技術認定医 (胃)、評議員、ロボット支援手術プロクター (食道・胃)。日本胃癌学会代議員。日本食道学会食道外科専門医、評議員。

## 4 切除不能進行・再発胃がんに対する化学療法

この数年の変化がもっともめざましい領域で、治療は日進月歩、複雑化しています。一次治療として、以前よりバイオマーカーとして **HER2** を測定し、HER2陽性症例にトラスツズマブが選択されてきました。それに加え、抗PD-1抗体ニボルマブまたはペムブロリズマブを含む治療が保険承認され、その効果に高頻度マイクロサテライト不安定性 (MSI-High) / ミスマッチ修復機能欠損 (dMMR) の有無や、PD-L1発現量 (Combined positive score: CPS) が関連するとされています。現在は Claudin (**CLDN**) 18陽性の症例に対して抗CLDN18.2抗体ゾルベツキシマブも選択可能になりました。これら4つ (下線) のバイオマーカーを測定し、最適な一次治療を提供しています。二次治療、三次治療でも上記バイオマーカーの結果と薬剤使用歴により、殺細胞性薬剤、分子標的薬、ICIを駆使して薬剤選択を行い予後改善に努めています。

### ● さいごに

このように、胃がんの集学的治療は細分化、複雑化してきており、単科での診療経験や知識のみでは最適な治療の提供は難しく、消化器内科、外科、腫瘍内科など各治療の専門家が集まって議論し、はじめて最適な治療を提供できる時代になっています。当院でも多診療科による定期的なカンファレンスを行っています。豊富な経験、知識、技術で責任を持って診療させていただきますので、何卒よろしく願い申し上げます。



▲カンファレンス風景

## 「頭の形外来」を開設しました

毎週 第1、第3金曜日 15:00～

赤ちゃんの頭は柔らかく外圧で容易に変形してしまいます。成長とともに変形は改善していきますが、重症例では残ることもあります。最近相談件数が増えてきたこともあり、「頭の形外来」を開設しました。対象は頭蓋縫合早期癒合症のない、変形が中等症以上の変形性斜頭・変形性短頭の乳児です。

- 1 いつも同じ向きを向いていないか、抱っこする向き、ベッドや授乳の向きを変えるなど、生活習慣を見直す。
- 2 生後3カ月以降では、赤ちゃんが活動しているとき、うつ伏せになる時間(タミータイム)を作り遊ぶことで頭を支える頸部の発達を促す。
- 3 それでも頭の形が改善しないケースでは、ヘルメット治療を検討する。



▲ヘルメット着用時  
(写真提供: GUNZE MEDICAL LIMITED)

ヘルメット治療とは、頭の形を矯正可能な時期(おおよそ生後4カ月から8カ月にかけて)に、オーダーメイドのヘルメットを作成、装着し、頭の形を矯正する治療です。1日23時間装着するので、赤ちゃんはもちろん、ご両親にも負担がかかる治療となります。自費診療となるため金銭的な負担も生じます。そのため適応となる症例は限られてくると考えています。

当院では形成外科に加え、小児科、脳神経外科にも協力を仰ぎ、発育障害、発達障害、頭蓋縫合早期癒合症等、病的な変形を見落とさないよう万全の体制で診療に当たります。毎週第1、第3金曜日15時から頭の形外来を開設していますので、気軽にご相談ください。

## Information 講演会・イベントのご案内

2025年2月～4月

### 大阪赤十字病院 小児科 クリニカルカンファレンス

- ◆ 日 時 / 第348回 2025年2月27日(木) 15:00～16:30
- 第349回 2025年3月27日(木)
- 第350回 2025年4月24日(木)

◆ 場 所 / 大阪赤十字病院 4階 第4会議室 + WEB (Zoom)

◆ 主 催 / 大阪赤十字病院 小児科

◆ 対 象 / 医師、医療関係者 ◆ 参加費 / 無料

※開催方法や詳しい演題名・演者は、発表月の第1週に決定しますので、お問い合わせください。

### 地域連携セミナー

- ◆ 日 時 / 2025年2月13日(木) 18:00～19:00
- ◆ 場 所 / 旧大阪赤十字看護専門学校 合同教室
- ◆ テーマ / 「ガイドライン作成者に学ぶ呼吸困難の緩和ケア」

### 病診薬連携セミナー2025

- ◆ 日 時 / 2025年2月20日(木) 19:00～20:30
- ◆ 場 所 / シェラトン都ホテル大阪 3F葛城の間
- ◆ 基調講演 / 「当院の肝胆膵がんセンターの紹介」 「地域連携と今後の展望」
- ◆ 特別講演 / 「医療DXの今 ～サイバーセキュリティを考えながら～」

## 【人事異動紹介】 2024年11月2日～2025年1月1日



昇任

2025年1月1日付  
脳神経外科  
副部長  
寺田 行範

新任

2024年12月1日付【産婦人科】福田 真優(専攻医)  
2025年1月1日付【皮膚科】改正 純一(医師) / 【脳神経外科】杉山 純平(専攻医) / 【小児科】柴田 幸穂(専攻医) / 【救急科】鈴江 愛(専攻医)

退職

2024年12月31日付【泌尿器科】宮内 康行(医長) / 【耳鼻咽喉科・頭頸部外科】吉村 雅衣(専攻医) / 【皮膚科】掛地 由貴人(専攻医)

## WEB予約を始めました

登録医  
限定

2024年12月2日より、登録医の先生方を対象に、WEB予約を始めました。インターネットを通じて24時間利用可能で、アプリなどのインストールは必要ありません。今後も地域の医療機関との連携を緊密に行うため、皆さまのご意見をもとにサービス向上に努めてまいります。ぜひ、ご利用ください。

診察予約 3日前まで(閉庁日を除く)

検査予約 5日前まで(閉庁日を除く)

お問い合わせ WEB予約や登録医制度など

大阪赤十字病院 地域医療連携室

TEL:06-6774-5127(直通)

FAX:06-6774-5126(直通)

MAIL:area-medical@osaka-med.jrc.or.jp

## 日赤オンライン医学講座

地域の先生方や一般市民の皆さま向けにオンラインでの医学講座を行っています。申込不要でお好きな時間にご視聴いただける10～20分程度のミニ講座です。

ぜひ、  
ご覧ください!

● 当院ホームページから視聴できます。

● YouTubeによる動画配信

● 月に2回、原則毎月1日・15日に新規動画を配信。

※ 休日の場合は翌開庁日です。



発行

## 大阪赤十字病院 医療連携・入退院支援課

大阪市天王寺区筆ヶ崎町5-30

<https://www.osaka-med.jrc.or.jp>

2025年1月発行

■医療連携・入退院支援課のご案内

受付時間 / 平日8:30～20:00、土曜8:30～13:00

休 診 日 / 日曜・祝日、12月29日～1月3日(年末年始)、5月1日(本社創立記念日)

連 絡 先 / (直通) TEL:06-6774-5127

FAX:06-6774-5126